

2008年1月 家計簿だより

京都生活協同組合
組織運営部
TEL 075-672-6304
FAX 075-661-4311

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は、税源移譲で変らぬはずの税負担増に加え、原油の値上等でガソリンを初め、くらしにかかわる商品の値上が相次ぎました。今年は、どんな年一年になるのか家計簿を通してみていきましょう！！本年も宜しくお願いいたします。

～いざという時の貯金～

※今月は夫の仕事の代金が入らずで収入はゼロ。貯金を崩しました。貯蓄するのは大好きですが、崩すのは嫌なものです。でも、貯蓄しているのは、こんな時のためだし、『まあ、仕方ないか』とのんきに構えられるようになったのも歳のせいかな？それともある程度、貯金があるからなのか…。大手の下請けの下の子の下…という一番下の職人なので、しんどい目をして、そして賃金が少ないのは辛いものですが、60歳になればサラリーマン時代の年金、少しいただけることで楽しんでいます。(59歳)

～不景気…若者の就業形態～

※建設業をしている夫は月のうち15日くらいしか仕事がありません。幸い子ども達も働いているため、何かとやりくりしていますが、若い人たちもあまり仕事がないようで、早く景気回復してもらわなければ家のローンや子どもたちの教育費など本当に大変だと思います。(57歳)

～イタ～イ「漏水」～

※家計集計としては来月になりますが、なんと漏水していたのです。台所でスースーという音が気になりだして約1ヵ月…。何の音かわからぬまま、「もしかして漏水？」と水道局から水道屋さんを紹介してもらって調べてもらった。「漏水」とわかり翌日修理に来てもらうことになった。その日検針の人がちょうど回ってこられ、なんと伝票に116,000円の金額が打ち込まれていて、ビックリ仰天！！水道局の規定で漏水証明書を持参して4万円分の負担。修理費37,000円を含め77,000円の臨時出費。痛いことこの上ありません。(66歳)

～お金がかかるのは、上物だけじゃなかった…～

※二ヵ月程前にマイホーム購入。

家だけでもすごい買い物なのに、部屋数が増え、部屋の形が変わると必要なものがすごくたくさんあることに気づきました。カーテン代、家具など毎月すごい出費。赤字じゃなくなる日はいつ来るのだろう。(32歳)

～ローンは賢く～

※実は、今回借り替えをしました。けれど金額が大きいのとローン返済していくことに変わりはないので計上していません。ここ2～3年で金利が上がる確率が高いと判断し、10年固定の2.2%に切り替えました。これで、10年の資金計画を考えられそうです。(34歳)

～オール電化は高価(?)～

※近頃買い物に行くと、値上がりした商品が急が増えて目につきます。生活必需品、食料品、年金生活者には、賞与がありません。寒さに向かって灯油原価高でいくらになるか心配です。オール電化だと盛んに宣伝され、老人には、必要なこと事かも知れませんがなかなか高価なものなもので、全面的に替えることができません。まあ今年もガスと灯油で頑張ろうかな思っていますが、次第にインフレ傾向になっているようで少々不安です。(77歳)

～オール電化は、光熱費節約に～

※オール電化にすると光熱費が浮くとコマーシャルをしています、これは確かだと思います。田舎のプロパンガスは、ボンベ借用の基本料金1,180円位かな？煮炊きの料金だけだと使用m3以上にこの月々の基本料金が高いと思います。ガスを廃止してIHヒーターに替えました。ガス代金分電気使用料はかかりませんね。昨年、ソーラ

一発電機つけた時に大きな配電盤にしてもらい電気温水器にしたので、炊事だけだったガスです。工事費は器具取り付けだけで済みました。光熱費が安くなり、良いものです。掃除が簡単だし、ガス栓閉め忘れの不安もないし、オール電化は良いものですよ。(63 歳)

～かかる教育費～

※今月は、娘二人の学費と定期代、夫の実家よりお米一年分購入のため出費が多い。長女大学を卒業する三年後までわが家の家計はすごくバランスが悪い家計になる。ぜいたくはしないが食費に関して安心安全に気を使い、健康の元なのでケチらずに気配りしていきたい。(54 歳)

～この国に「福祉」は存在するのか疑問～

※プロパンガス、ガソリン、灯油、食品など目に見える値上がりもすごい。そして 65 歳以上の介護保険料も二人合わせて 3,150 円も値上がりました。年金から有無を言わず差し引かれる。もう、介護保険を解約したいわ！！いざ介護を受けたいと思われても（近所のお年寄り）なかなか認定してくれない。今まで車椅子を使えたのに、使うなら買い取って下さいという。一体この国の福祉はどうなっていくのか。また、来年 4 月から後期高齢医療の非情な企み、保険料も別枠にして年齢から差し引くし、受けられる医療も制限を加えるというもの。許せないです。(68 歳)

～国の施策は、本当に国民に暮らしを考えているのか？～

※今月初めて私の公的年金が出ました。本来なら今月より満額の年金が出るはずなのに、自公民が年金支給年齢を 65 歳にし、金額も減らしたのでこの額です。私より若い人は、65 歳までこの金額も出ない上に払う方は増え、受取る金額は減るんだし、「あんたはましやで」の声が聞こえそうですが、これは、下見て暮らせという江戸時代幕府の考え方です。年金は給料の中から私たち積み立ててきた私たち自身のお金です。それをまるで湯水のように使い資金を減らしてきたのは政府の責任。その責任を逃れるかのように社会保険庁を民営化するという。そして、消費税を大幅アップして年金を賄うと言い始めました。それでは益々格差が広がり社会不安を引き起こします。

日本は、国際紛争は武力を使わず解決し、そのための戦力は持たないと憲法で宣言している国です。戦闘機など買わずに米軍に出している莫大なお金を私たちの暮らしのために使ったら、庶民の暮らしは楽になり老後も安心でき、人々の心も穏やかになりのではないかといつも思います。世界の国には、医療も教育も無料で受けられる国が少なからずあります。親の経済力が子どもの学力

を決め格差を継続する国では間違っていますね。(60 歳)

～家族が少なくなっても…～

※年金 2 ヶ月分を上回る支出になりました。

夫が死去して年金は 60% になったが、住民税は、支払わなければならない口座変更をしていなかったなので、引き落としができなくなり、税・国保を 9 月 10 月の 2 ヶ月分を支払ったので、非消費支出が多くなっています。一人家族が少なくなったと言っても家計費を今までの 6 割に減らすのはむずかしいです。(72 歳)